



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7670 URL http://www.owell.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飛戸 克治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 川戸 康晴 (TEL) 06-6473-0138  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	47,843	—	976	—	1,142	—	780	—
2018年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期  $\Delta 453$ 百万円(—%) 2018年3月期第3四半期  $-1$ 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	89.31	—
2018年3月期第3四半期	—	—

(注) 2018年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年3月期第3四半期の数値及び2019年3月期第3四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	44,408	16,945	37.9
2018年3月期	45,235	16,373	36.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 16,842百万円 2018年3月期 16,275百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	5.1	1,350	12.5	1,480	10.7	1,000	21.5	109.09

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- 2 2019年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募による自己株式の処分株式数(1,628,000株)を含めた期中平均発行済株式数により、算出しております。なお、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当による自己株式の処分(最大244,200株)は含まれておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) ー、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	10,500,000株	2018年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	246,242株	2018年3月期	1,874,242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	8,738,238株	2018年3月期3Q	ー株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油高による燃料価格上昇は落ち着き、災害復旧・復興工事や住宅着工などの建設需要が関連業種に波及したほか年末需要などがみられたものの、人手不足による一部受注機会の損失や進捗遅れや輸出減速などにもない製造業が悪化するなど、弱含み傾向が続きました。海外経済は、通商問題の動向及び影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があるものの、緩やかな回復基調が継続されました。

このような経営環境の下で、当社は2018年12月13日に東京証券取引所市場第二部に上場致しました。当社グループは、塗料関連事業、電気・電子部品事業の2つの事業に関する様々な商品・サービスを広範な産業に供給しております。当社グループは、取引先の課題を明らかにし、その課題を解決するために考動するべく、塗膜品質向上のための塗膜形成に関する課題解決力の向上、新商品開発及び品質保証力の強化、グローバル化への対応を継続しながら、事業基盤の強化、拡大に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は47,843百万円、営業利益は976百万円、経常利益は1,142百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は780百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①塗料関連事業

塗料関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの生産減がありましたが、大型塗装設備の受注や、その他主要顧客の売上増がありました。

その結果、塗料関連事業の売上高は37,363百万円、セグメント利益は1,747百万円となりました。

#### ②電気・電子部品事業

電気・電子部品事業では、当社子会社であるユニ電子㈱の車載向けモジュールの販売が、好調に推移いたしました。

その結果、電気・電子部品事業の売上高は10,480百万円、セグメント利益は442百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、31,242百万円（前連結会計年度末30,362百万円）となり、前期末に比べ880百万円増加（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。その主な内訳は、現金及び預金が1,216百万円、たな卸資産が1,060百万円、電子記録債権が540百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が1,957百万円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、13,166百万円（前連結会計年度末14,872百万円）となり、前期末に比べ1,706百万円減少（前連結会計年度末比11.5%減）となりました。その主な内訳は、投資有価証券が1,693百万円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、23,459百万円（前連結会計年度末24,410百万円）となり、前期末に比べ950百万円減少（前連結会計年度末比3.9%減）となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,051百万円減少したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、4,003百万円（前連結会計年度末4,451百万円）となり、前期末に比べ447百万円減少（前連結会計年度末比10.1%減）となりました。その主な内訳は繰延税金負債が408百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、16,945百万円（前連結会計年度末16,373百万円）となり、前期末に比べ572百万円増加（前連結会計年度末比3.5%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年12月13日に開示いたしました「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報のお知らせ」に記載した連結業績予想数値から、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,013	7,230
受取手形及び売掛金	16,699	14,741
電子記録債権	2,815	3,356
たな卸資産	3,964	5,025
その他	876	896
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	30,362	31,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,220	1,176
機械装置及び運搬具（純額）	70	71
工具、器具及び備品（純額）	73	73
土地	1,968	1,968
リース資産（純額）	15	24
有形固定資産合計	3,348	3,315
無形固定資産		
ソフトウェア	77	64
のれん	48	38
その他	37	37
無形固定資産合計	163	141
投資その他の資産		
投資有価証券	10,862	9,168
長期貸付金	80	80
退職給付に係る資産	—	59
繰延税金資産	84	71
その他	393	383
貸倒引当金	△59	△54
投資その他の資産合計	11,360	9,709
固定資産合計	14,872	13,166
資産合計	45,235	44,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,191	18,139
短期借入金	1,670	2,497
1年内返済予定の長期借入金	1,600	900
未払法人税等	209	50
賞与引当金	429	223
品質保証引当金	63	33
その他	1,246	1,614
流動負債合計	24,410	23,459
固定負債		
長期借入金	1,450	1,450
退職給付に係る負債	144	145
役員退職慰労引当金	79	76
繰延税金負債	2,442	2,033
資産除去債務	45	45
その他	290	253
固定負債合計	4,451	4,003
負債合計	28,861	27,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	529	748
利益剰余金	9,875	10,552
自己株式	△1,048	△137
株主資本合計	10,214	12,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,987	4,788
繰延ヘッジ損益	△15	△5
為替換算調整勘定	101	48
退職給付に係る調整累計額	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	6,061	4,821
非支配株主持分	97	103
純資産合計	16,373	16,945
負債純資産合計	45,235	44,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	47,843
売上原価	41,432
売上総利益	6,410
販売費及び一般管理費	5,434
営業利益	976
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	190
その他	64
営業外収益合計	257
営業外費用	
支払利息	29
持分法による投資損失	9
為替差損	22
貸倒引当金繰入額	0
その他	29
営業外費用合計	90
経常利益	1,142
税金等調整前四半期純利益	1,142
法人税、住民税及び事業税	230
法人税等調整額	126
法人税等合計	357
四半期純利益	785
非支配株主に帰属する四半期純利益	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	780

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	785
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,198
繰延ヘッジ損益	9
為替換算調整勘定	△27
退職給付に係る調整額	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△24
その他の包括利益合計	△1,239
四半期包括利益	△453
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△459
非支配株主に係る四半期包括利益	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社株式は、2018年12月13日付で、東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。株式上場にあたり、2018年12月12日を払込期日とする公募による自己株式の処分により、自己株式が911百万円減少し、資本剰余金が218百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,363	10,480	47,843	—	47,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	332	367	△367	—
計	37,397	10,812	48,210	△367	47,843
セグメント利益	1,747	442	2,189	△1,213	976

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,213百万円は、主に会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

第三者割当による自己株式の処分

当社は、2018年11月8日及び2018年11月26日開催の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三社割当による自己株式の処分を決議し、2019年1月16日に払込が完了しました。

- |                |       |             |
|----------------|-------|-------------|
| (1) 処分株式の種類及び数 | 普通株式  | 89,300株     |
| (2) 処分価額       | 1株につき | 693.75円     |
| (3) 処分価額の総額    |       | 61,951,875円 |
| (4) 払込期日       |       | 2019年1月16日  |